

JR横浜線・淵野辺駅から徒歩1分的好立地に拠点を構えるalles lie be(アレスリーベ)、中央区淵野辺は、就労継続支援B型事業所のほか、障がい者のための結婚相談所を運営しています。障がい者専門の結婚相談所は全国的にも珍しいとされ、2024年度の相模原トリアル発注認定製品にも選ばれました。「障がい理由に恋愛や結婚を諦めてきた人たちが幸せな人生を送るサポートをしたい」と奔走する青木啓子代表に話を聞きました。

— 設立のきっかけをお聞かせください。

「もともとは都内の社会福祉法人で長く働いていました。そこは日常生活などを支援する『生活介護』と、一般企業で働くことが難しい人たちを支援する『就労継続支援B型』の両方を兼ね備えた『多機能型事業所』で、計約60人の利用者をサポートしていました」

「そうした中で、利用者たちの悩みを聞くと、『どうせ結婚なんてできない』『恋愛してみたいけれど、妄想の中だけ』という声がよくありました。そして『小さくても一人一人に向き合った支援をしたい』と強く思うようになりました。何かできないかと模索する中、名古屋で障がい者専門の結婚相談所システムをつかった人と知り合いました。その時、関東でもこの取り組みを広ようと決め、起業して結婚相談所事業を始めました。2022年11月のことです」

— 結婚相談所はどのような仕組みですか。

「毎月2人までお見合いを申し込めるお試し3カ月コース、10人まで申し込める

るチャレンジドパーフェクトコース、20

人まで申し込めるフルサポートコースがあります。入会し、気に入った人がいたらお見合いを申し込みます。健常者のお見合い紹介所と変わらない仕組みです。たとえ障がいがあっても、自分の人生を真剣に考え結婚についてきちんと理解をしたうえで利用してもらうため、入会条件を設けています。約60人が登録していますが、現在までの3年間で10組が成婚しました。このうち約半数は障がい者と健常者のカップルです。『生きていれば何かしらある。年を取ると病気がない人なんて少ないんだし』と、障がいの特性を理解して受け入れてくれる人たちが増えてきたと感じます」

— 独自のサポートもされています。

「障がい者専門ですので、お互いの理解が必要になります。例えば、聴覚に障害がある人なら、コミュニケーションを取るために専用アプリのインストールをお願いしたり、障害の特性と対応方法をお伝えしたりしています。一方、利用者向けサービスで人気があるのは、男性会員向けに実施する1時間のオンライン婚

障がい者専門、婚活サポート展開 就労支援B型施設なども運営

(株)alles liebe (アレスリーベ) 代表取締役 青木 啓子さん



活セミナー『男塾』です。今まで女性と

ングスペースも運営しています。

一度も付き合ったことがないという人も多いですし、家庭での性教育は難しいという保護者の悩みもあって始めたものというテーマは女性の心理やデートでの振る舞いなどさまざまです。講座を受けてお見合いを重ねる中、めでたく成婚となる人もいれば、結婚を考えて入会するものの『やはり結婚は難しい』とご自身で判断し、納得して退会する人もいます

— 就労継続支援B型事業やコワーキ

「結婚を考える中で『しっかり働きたい』と責任感が生まれる人もいます。一般企業での就労が難しい人にとって、働く場や居場所、安らぎとなるような、小さくても一人一人に向き合った支援をする場所をつくりたいという夢がありました。この空間を、駅前のコワーキングやスタディ、レンタルスペースとすることで、地域の人たちとの接点もつくっていきたくとも考えています」